

HiPeR特別セミナー

月の水と将来の探査計画

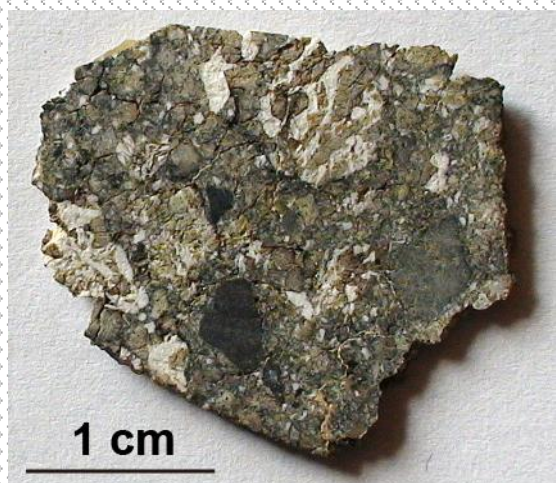
講師：鹿山 雅裕 氏

(東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学・助教)

2019年9月3日 (火) 14:00~

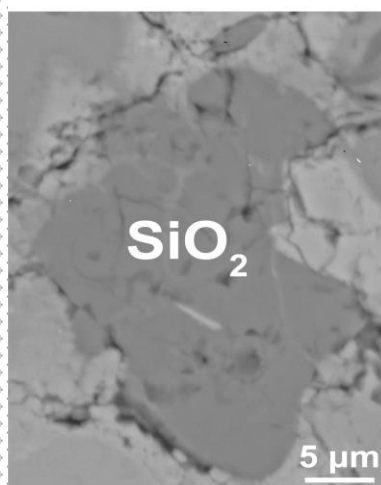
理学研究科 B606講義室

アポロ計画以降、月は水に乏しい天体と考えられてきた。しかし、2000年以降の月周回衛星により極域表面で最大5.6 wt%にも及ぶ大量の氷が観測された。最近では、月隕石からモガナイトと呼ばれるSiO₂鉱物が発見され、月の地下に>0.6 wt%にも達する氷が埋蔵する可能性が見出された。本セミナーでは、月の水に関する研究背景を紹介すると共に、月隕石から発見されたモガナイトの研究内容について概説する。さらに、日本主導のもと検討されている月極域無人着陸探査計画 (SELENE-R) と有人月面探査実証ミッション (HERACLES) の詳細について解説する。

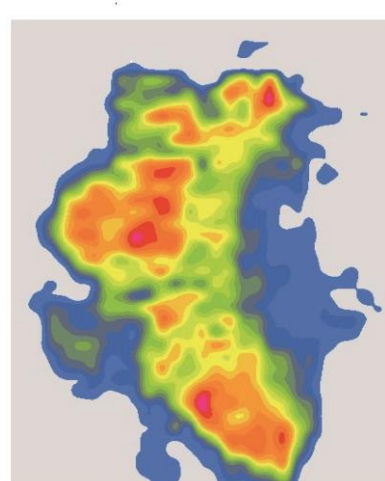


月隕石NWA2727

A



B



NWA2727から見つかったモガナイトのBSE像 (左図) とラマンマップ (右図、赤色はモガナイトが多い領域)